

ESGデータ集

製品・事業活動関連環境データ

電動車販売実績

(年度)

	単位	2018	2019	2020	2021	2022
電動車 合計	台	54,572	75,143	64,561	65,496	93,588
電動車販売比率	%	4	7	8	7	11
プラグインハイブリッド車 (PHEV)	台	47,238	47,758	35,553	43,021	60,660
国内	台	6,780	4,970	5,629	11,663	21,544
海外	台	40,458	42,788	29,924	31,358	39,116
電気自動車(EV)	台	766	1,015	1,566	839	10,461
国内	台	410	901	1,517	690	9,790
海外	台	356	114	49	149	671
ハイブリッド車(HEV)	台	6,568	26,370	27,442	21,636	22,105
国内	台	6,568	26,370	27,442	21,636	22,105
海外	台	0	0	0	0	0
その他(※1)	台	-	-	-	-	362
世界販売(含む内燃機関車)	台	1,243,914	1,126,843	801,442	936,749	834,172

※1 ルノーからのOEM車(HEV、PHEV)

製品の燃費・CO₂排出量(企業平均)(※2)

	単位	2018	2019	2020	2021	2022	
米国 (燃費)	輸入乗用車	mpg	45.9	45.4	45.5	45.3	42.2
	小型トラック	mpg	35.8	35.9	36.8	35.8	37.5
欧州 (CO ₂ 排出量)(※3)	乗用車	生産拠点： 三菱自動車工業(日本)	121	115.6	99.6	93.0	-
		生産拠点： MMT h (※4)			104.2	115.3	-
中国 (燃費)	輸入車	L/100km	12.0	12.0	-	-	-
	現地生産車	L/100km	7.1	7.2	7.5	7.89	7.4

※2 各国・各地域の当局の公表値。米国は年式、欧州・中国は暦年

※3 走行モード：NEDCモード(～2020年)、WLTPモード(2021年～)

※4 ミツビシ・モーターズ(タイランド)・カンパニー・リミテッドの略称

事業活動関連データ

CO₂排出量

(年度)

	単位	2018	2019	2020	2021	2022
生産	千t-CO ₂	518	464	312	358	314
非生産	千t-CO ₂	70	62	53	53	52
日本	千t-CO ₂	404	348	246	277	226
アジア	千t-CO ₂	178	173	116	132	138
その他	千t-CO ₂	6	5	3	2	2
スコープ1(直接排出)	千t-CO ₂	119	110	80	92	95
スコープ2(間接排出)	千t-CO ₂	469	416	285	319	271
(スコープ1+2)合計	千t-CO ₂	588	526	365	411	366
スコープ3	千t-CO ₂ eq	42,580	35,429	20,286	28,294	28,710
(スコープ1+2+3)合計	千t-CO ₂ eq	43,168	35,955	20,651	28,705	29,076

対象拠点：各年度時点の環境マネジメント対象会社(含む当社)

環境マネジメント対象会社におけるデータ取得カバー率：100%

2022年度の環境マネジメント対象会社20社については、P33をご参照ください。

環境マネジメント対象会社の要件を整理し、2021年度より持分法適用関連会社を対象から除外しました。2018～2020年度の(スコープ1+2)合計には、持分法適用関連会社によるCO₂排出量(2018年度：43千t-CO₂、2019年度：35千t-CO₂、2020年度：28千t-CO₂)を含みます。

なお、2022年度環境マネジメント対象会社のうち、CO₂排出量換算で97%以上の拠点で、ISO14001などの環境マネジメントシステムの認証を取得しています。

CO₂排出係数について

・「地球温暖化対策の推進に関する法律にもとづく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」に準ずる

・海外電力の排出係数は、電気事業者別排出係数。一部拠点は、各年度のIEA “CO₂ Emissions from Fuel Combustion” または IEA “Emission factors” の排出係数

スコープ3内訳

(年度)

カテゴリ	単位	2018	2019	2020	2021	2022	対象範囲
1 購入した製品・サービス	千t-CO ₂ eq	6,900	6,331	4,043	5,495	6,806	連結 (生産のみ)
2 資本財	千t-CO ₂ eq	407	319	310	150	121	単体
3 スコープ1,2に含まれない燃料エネルギー	千t-CO ₂ eq	21	49	36	44	70	連結
4 輸送、配送(上流)	千t-CO ₂ eq	1,278	1,174	541	1,049	1,622	連結
5 事業活動から出る廃棄物	千t-CO ₂ eq	19	21	11	15	15	連結 (生産のみ)
6 出張	千t-CO ₂ eq	4	4	4	4	4	連結
7 雇用者の通勤	千t-CO ₂ eq	14	14	13	13	13	連結
8 リース資産(上流)	千t-CO ₂ eq	-	-	-	-	-	-
9 輸送、配送(下流)	千t-CO ₂ eq	-	-	-	-	-	-
10 販売した製品の加工	千t-CO ₂ eq	-	-	-	-	-	-
11 販売した製品の使用	千t-CO ₂ eq	33,199	26,833	14,927	20,981	19,530	全仕向け
12 販売した製品の廃棄	千t-CO ₂ eq	727	671	382	529	517	全仕向け
13 リース資産(下流)	千t-CO ₂ eq	-	-	-	-	-	-
14 フランチャイズ	千t-CO ₂ eq	12	13	19	14	12	国内販売 会社の一部
15 投資	千t-CO ₂ eq	-	-	-	-	-	-

エネルギー使用量(1次・2次エネルギー)

(年度)

	単位	2018	2019	2020	2021	2022
総量	PJ(※)	10.2	9.5	7.0	8.2	8.2
生産	PJ	9.0	8.3	5.9	7.0	7.0
非生産	PJ	1.2	1.2	1.1	1.2	1.2
日本	PJ	7.2	6.6	4.9	5.6	5.5
アジア	PJ	2.9	2.8	2.0	2.5	2.6
その他	PJ	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1

対象拠点：各年度時点の環境マネジメント対象会社(含む当社)

環境マネジメント対象会社におけるデータ取得カバー率：100%

2022年度の環境マネジメント対象会社20社については、P33をご参照ください。

※10の15乗ジュール 単位発熱量：「エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律」から引用

SOx(硫黄酸化物)

(年度)

	単位	2018	2019	2020	2021	2022
総排出量	t	218	163	125	50	30

対象拠点：各年度時点の環境マネジメント対象会社(含む当社)

環境マネジメント対象会社におけるデータ取得カバー率：100%

2022年度の環境マネジメント対象会社20社については、P33をご参照ください。

算定方法：使用燃料の硫黄分の重量を算定し、SO₂に換算

NOx(窒素酸化物)

(年度)

	単位	2018	2019	2020	2021	2022
総排出量	t	65	61	44	58	59

対象拠点：各年度時点の環境マネジメント対象会社(含む当社)

環境マネジメント対象会社におけるデータ取得カバー率：100%

2022年度の環境マネジメント対象会社20社については、P33をご参照ください。

算定方法：燃料使用量を環境省「環境活動評価プログラム」の排出係数にて換算

VOC(揮発性有機化合物)

(年度)

	単位	2018	2019	2020	2021	2022
総排出量	t	2,354	2,243	1,227	1,511	1,667

対象拠点：岡崎製作所、水島製作所、水菱プラスチック株式会社

オゾン層破壊物質の排出

三菱自動車工業株式会社において、2022年度は2.3t(HCFC換算)と推計しています。

廃棄物発生量

(年度)

	単位	2018	2019	2020	2021	2022
総排出量	千t	187	202	109	143	141
生産	千t	176	194	103	137	134
非生産	千t	11	8	6	6	7

対象拠点：各年度時点の環境マネジメント対象会社(含む当社)
環境マネジメント対象会社におけるデータ取得カバー率：100%
2022年度の環境マネジメント対象会社20社については、P33をご参照ください。

廃棄物の発生・社外への排出状況

(年度)

	単位	2018	2019	2020	2021	2022
発生総量	千t	104	89	58	85	84
社外排出	千t	56	53	40	54	60
社内再利用分	千t	48	36	18	31	24

対象拠点：岡崎製作所、水島製作所、京都製作所

原材料使用量

(年度)

	単位	2018	2019	2020	2021	2022
鉄・アルミ	千t	154	141	97	117	139
樹脂類	千t	2.5	2.1	1.1	2.4	2.9

対象拠点：岡崎製作所、水島製作所、京都製作所

取水量

(年度)

	単位	2018	2019	2020	2021	2022
総量	千m ³	6,211	5,915	4,420	4,640	4,659
生産	千m ³	5,901	5,654	4,188	4,389	4,405
非生産	千m ³	310	261	232	251	254
上水	千m ³	878	988	718	383	438
工業用水	千m ³	3,412	3,280	2,594	2,938	2,907
地下水	千m ³	1,921	1,647	1,108	1,319	1,314

対象拠点：各年度時点の環境マネジメント対象会社(含む当社)
環境マネジメント対象会社におけるデータ取得カバー率：100%
2022年度の環境マネジメント対象会社20社については、P33をご参照ください。
・ミツビシ・モーターズ・クラマ・ユダ・インドネシア(MMKI)では、排水の一部をリサイクル・再利用しています
2022年度は、約181千m³をリサイクル利用しました(当社グループ全体の取水量の約4%)

排水量

(年度)

	単位	2018	2019	2020	2021	2022
総量	千m ³	4,504	4,104	3,266	3,316	3,311
生産	千m ³	4,194	3,843	3,034	3,254	3,238
非生産	千m ³	310	261	232	62	73
下水	千m ³	2,396	2,041	1,713	1,581	1,410
公共水域	千m ³	2,108	2,063	1,553	1,735	1,901

対象拠点：各年度時点の環境マネジメント対象会社(含む当社)
環境マネジメント対象会社におけるデータ取得カバー率：100%
2022年度の環境マネジメント対象会社20社については、P33をご参照ください。
・一部推計を含みます

環境会計

〈環境保全コスト〉

(年度)

分類	主な取り組みの内容		単位	2020		2021		2022	
				投資額	費用額	投資額	費用額	投資額	費用額
事業エリア内コスト	公害防止コスト	大気汚染防止、水質汚濁防止、土壌汚染防止	百万円	203	629	591	658	616	663
	地球環境保全コスト	地球温暖化防止、オゾン層破壊防止	百万円	346	13	78	10	183	56
	資源循環コスト	廃棄物発生量低減・適正処理、再利用の促進	百万円	0	933	0	732	0	754
上・下流コスト	使用済みバンパーの回収、自動車リサイクル法対応		百万円	0	1,661	0	1,430	1	1,287
管理活動コスト	ISO14001の認証維持、社員教育、モニタリング		百万円	18	588	30	561	66	551
研究開発コスト	燃費向上、排出ガス対策など製品の環境負荷低減に関する研究開発		百万円	456	32,731	661	27,691	822	41,908
社会活動コスト	環境体験授業活動、地球環境活動支援、環境関連団体への寄付、環境情報公開		百万円	47	189	0	241	0	269
環境損傷対応コスト	事業活動が環境に与えた損害への補償		百万円	0	5	0	2	0	1
合計			百万円	1,070	36,749	1,359	31,324	1,688	45,489

	単位	設備投資	研究開発費	設備投資	研究開発費	設備投資	研究開発費
〈参考〉当社グループ全体の設備投資、研究開発費	億円	764	1,014	627	907	786	1,072

対象拠点：三菱自動車工業株式会社

〈環境保全対策にともなう経済効果(実質的効果)〉

(年度)

分類	主な取り組みの内容	単位	2020	2021	2022
収益	廃棄物のリサイクルまたは使用済み製品のリサイクルによる事業収入	百万円	1,083	2,540	2,518
費用節減	省エネルギーによるエネルギー費の低減	百万円	2,333	▲1,057	▲4,458
	節水による水道代の低減	百万円	31	14	▲7
	省資源またはリサイクルによる廃棄物処理費の低減	百万円	▲551	389	▲140
	梱包資材のリサイクルによる梱包資材費の低減	百万円	369	379	120
合計		百万円	3,265	2,265	▲1,982

対象拠点：三菱自動車工業株式会社